

Tuuli

トゥーリ

2019年8月15日発行

至誠祭り・バザーのお知らせ

令和初の至誠ホームのバザーは、「至誠祭り・バザー」と名称を改め今年もまた準備が始まっています。今年も昨年同様、法人の児童、保育、高齢の3事業本部合同で行います。高齢者福祉事業充実のためにご協力いただくことと、他の事業についてもボランティアや地域の皆様に知っていただけるよう3事業本部が連携し地域の方々と交流をすることを目的とします。

◆ 場 所：至誠ホーム けやき広場 他

◆ 日にち：10月19日(土)

◆ 時 間：10:00~14:00

◆ 物品寄贈ご協力のお願い：

新品のみ（中古品は受け付けておりません。）

衣類・シーツ・食品・洗剤・石鹸 等



◆ バザー当日の10月19日(土)は大勢のボランティアさんのお力が必要です！！

活動内容としては、利用者の付き添い・売り場担当、会場となっています。

順次申し込みの受付をしております。お申込みは下記までお願い致します。

申込先：社会福祉法人至誠学舎立川至誠ホーム
(立川市錦町6-28-15)

Tel : 042-527-0035 担当：和田、金綱、駒場

納涼大会のお礼

今年の納涼大会も、既存のボランティアさん新規のボランティアさん、高校生、大学生等総勢93名の方々にお手伝い頂き、盛大に執り行われました。今年は特に高校生ボランティアさんのご参加が多く、なんと高校生だけで47名もの方がお力を貸してくださり、至誠ホームは一気に若返り、活気溢れる一晩となりました。梅雨明け後の東京は猛暑日が続いていましたが、納涼大会当日もやはり35度を超える猛暑日。夕方とはいえ大変暑い中でのスタートとなりましたが、ボランティアの皆様汗だくになりながらも笑顔でお年寄りの付添い、会場整理、お遊びコーナー等の活動にご協力くださいました。旭ホーム長からの挨拶にもあったように、至誠ホームの行事は大勢のボランティアさんのお力に支えられ成り立っています。今年も皆様のお蔭で入居者の方々のたくさんの笑顔を見ることができました。

事故なく楽しい一晩となりましたのも皆様方のお陰と心から感謝致しております。

受け入れ等のところでご迷惑をおかけしたこともあったかと思いますが、皆様のご理解とご協力に感謝致します。ありがとうございました。



タイトルのTuuliとはフィンランド語で「風」を意味します。皆様のもとにさわやかな風をお届けしたいと願っています。

連絡先

〒190-0022 東京都立川市錦町6-28-15 Tel : 042-527-0035 Fax : 042-527-2646
E-mail : shisei-volunteer@shisei.or.jp HP : <http://www.shisei.or.jp>

令和元年度ボランティア講座を7月に行いました。今回は「おもいをつなぐ～ボランティアはじめの一步」と題しまして、ボランティア活動に興味がある、はじめたいと思っている方に向け、まず一步を踏み出すきっかけ作りとなる内容でお届けしました。

講師には立川市社会福祉協議会市民活動センターより小林さん、第2地区（錦町・羽衣町）地域福祉コーディネーターの安藤さんをお招きし、ボランティアの基本のところから、いきいきと豊かな街を地域全体で作っていくには、というところまで大変興味深いお話を聞くことができました。

参加者の方々から、「未経験で分からないことばかりなので色々な話が聞けて良かった。これから少しずつ経験を積んでいきたい。」「コミュニケーションの取り辛い方も、個人として向き合えば、身振り手振りでも会話ができるというお話が印象的で今後参考にしたいと思います。」等、今後の活動に繋げて頂けることを感じる嬉しい感想を頂きました。

今後も皆様の活動のお役に立てるもの、また地域の方々にホームに足を運んで頂くきっかけ作りとしても講座の開催を計画していきたいと思っております。



グループでの活発な意見交換！



車椅子講習では乗る側と押す側の両方を体験。

社会福祉協議会の安藤さん、小林さんより熱のこもった講義。

ボランティアさんの紹介コーナー

今回は、この春から至誠ホームアウリンコのお年寄りのお散歩やお話相手、また行事のお手伝いもしてくださっている大学生の吉本さんをご紹介します。吉本さんは笑顔がとても素敵で包容力もあり、吉本さんが来て下さるとお年寄りの顔がほころびます。いつもありがとうございます。以下に、吉本さんのお言葉をご紹介します。

お散歩ボランティアとして活動している、明星大学2年の吉本利奈と申します。私がボランティアを始めたのは、将来福祉関係の職に携わる上で、ボランティアという形で少しでも実際の現場にふれてみたいと思ったのがきっかけです。

ボランティア活動では利用者さんとお散歩したり、お話ししたりと楽しい時間を過ごさせていただいています。学校では福祉を専攻しているのですが、初めてのボランティアは教科書などから学べるものとは違い、最初はどうお話ししたらいいのか分からず利用者さんに楽しんで貰えているのだろうかと不安に思ったのが正直なところです。

しかし、回数を重ねるごとに「この前も来てくれたわよね」「いつもありがとう」と顔を覚えてくださり、少しの変化かも知れませんが私にはそうした変化がとても嬉しく思いました。

やるからには喜んでいただきたいと始めたボランティアでしたが、逆に私が元気をいただいています。

楽しい活動の中に学ばせていただくことも多く、毎回の活動を楽しみにしています。これからもよろしくお願ひします。

